

麦へのソバ混入は絶対にダメです！！

「ソバ」は、そばアレルギーの方にとって、呼吸困難や血圧低下など重篤な症状を引き起こす原因物質です。最悪の場合、死亡事故につながるため、厳重な注意が必要です。

- ✓ 収穫後の農産物検査時にソバが 1 粒でもあれば、民間流通麦として取り扱いができません。
- ✓ ソバ混入が確認された麦は、規格外扱いとなり、交付金も支払われません。
- ✓ ソバ混入は生産者個人の問題にとどまらず、産地全体に影響をおよぼすため、対策を徹底しましょう。

ソバ混入防止対策

（1）ほ場におけるソバ混入防止

- ・ 原則として、ソバ作付け後のほ場では、麦は生産できません。
- ・ 前作ソバのこぼれ種子は、5 月末頃には乳熟状態（実入り）となります。小麦の成熟期はソバの結実期と重なるため、特に徹底した防除が必要です。
- ・ 発生が少ない場合は、手で全て抜き取ってください。
- ・ ソバの防除に有効な茎葉処理除草剤は表 1 のとおりです。小麦の生育状況によっては使用できない可能性もあるため、使用時期は特に注意してください。

表 1 ソバ（一年生広葉雑草）の防除に有効な主な茎葉処理除草剤

対象作物	薬剤名	対象雑草	使用量 (散布液量)	使用時期	使用回数
小麦	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	一年生雑草 (イネ科を除く)	100～200ml/10a (70～100L/10a)	生育期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 回

（2）収穫時におけるソバ混入防止

- ・ 生育期にソバの発生を確認した場合は、別途、刈り分けることで混入を防ぎましょう。
- ・ コンバインは作業前に掃除を十分行いましょう。
- ・ 刈取位置を 40cm 以上の高めにすることで、混入を防止できます。

（3）乾燥・調製時および出荷時におけるソバ混入防止

- ・ 乾燥・調製機械、作業場は掃除を十分にいき、作業中の混入を防ぎましょう。
- ・ ソバの混入が疑われる場合は、色彩選別機等を用いて選別を行ってください。その際、適切な流量で実施し、ソバを確実に取り除いてください。

農薬を使用する際は、必ず使用前にラベルを見て、対象作物、使用量、散布液量、使用時期、使用回数等を確認しましょう（令和 6 年 4 月 10 日登録確認）
農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないように注意しましょう。